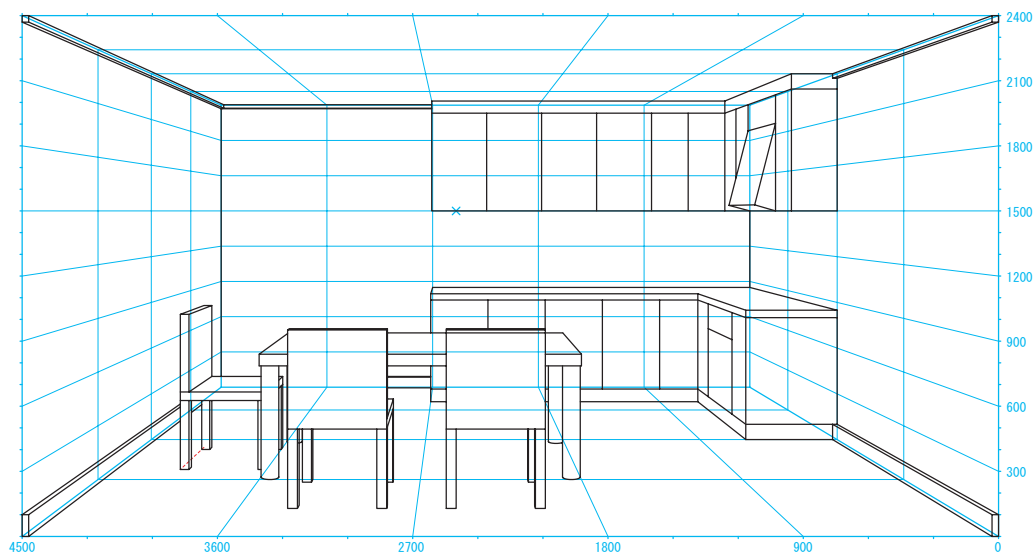
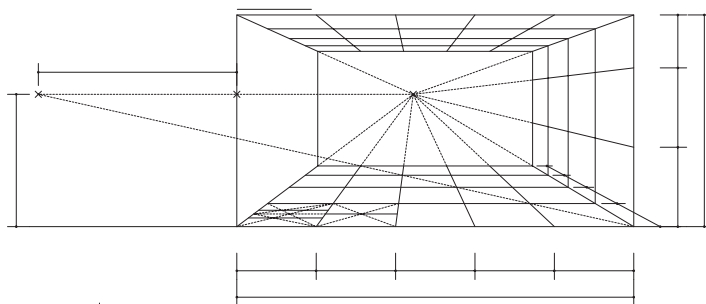


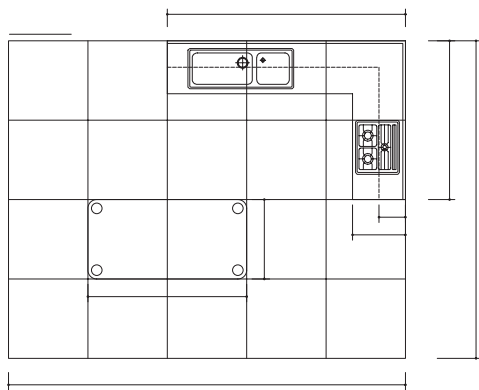
パースグリッドの使い方



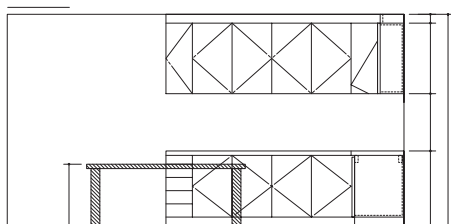
●パース



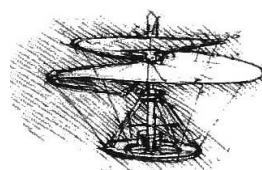
●パースグリッド



●平面図



●展開図



Air Screw  
Leonardo da Vinci

This Homepage.....  
of the Interior Coordinator,  
by the Interior Coordinator,  
for the Interior Coordinator.

- ステップ 1 : 準備・・・パースグリッドの準備
- ステップ 2 : 床面の点のとり方(1)・・・グリッド上の点・VPからの補助線上の点
- ステップ 3 : 床面の点のとり方(2)・・・グリッドから外れた奥行き補助線上の点
- ステップ 4 : 床面から離れた点のとり方(1)・・・壁に接した点・壁にも床にも接していない点
- ステップ 5 : 床面から離れた点のとり方(2)・・・壁にも床にも接していない点
- ステップ 6 : 天井面の点のとり方(1)・・・グリッド上の点・VPからの補助線上の点
- ステップ 7 : 天井面の点のとり方(2)・・・グリッドから外れた奥行き補助線上の点
- ステップ 8 : 天井面から離れた点のとり方(1)・・・壁に接した点・壁にも天井にも接していない点
- ステップ 9 : 天井面から離れた点のとり方(2)・・・壁にも天井にも接していない点
- ステップ 10 : 壁に接していない点のとり方(1)・・・ダイニングテーブルの位置・高さ
- ステップ 11 : 壁に接していない点のとり方(2)・・・テーブルの直方体・脚の位置と大きさ
- ステップ 12 : 角脚の描き方・・・角脚の描き方・テーブルの仕上げ(角脚)
- ステップ 13 : 丸脚の描き方・・・丸の練習・テーブルの仕上げ(丸脚)
- ステップ 14 : ダイニングチェアの描き方(1)・・・ダイニングチェアの位置・直方体
- ステップ 15 : ダイニングチェアの描き方(2)・・・チェアの脚と座面・チェアの仕上げ
- ステップ 16 : パースの仕上げ・・・フロア・ウォールキャビネットの仕上げ・部屋の仕上げ
- ★ここで第1回目の添削です!
- ステップ 17 : パースグリッドの分割法と増殖法・・・2分割法・3分割法・増殖法

- 道具・材料について・・・一般の製図道具の他に次のようなものが必要になります
- ・マーカー(コピックスケッチ等 20~30本)
  - ・ドローイングペン(コピックマルチライナー等 0.1mm 0.3mm 各1本)
  - ・マーカーパッド(PMパッドホワイトA4等)・・・練習帳に5枚付
  - ・トレーシングペーパー(厚めのもの)・・・練習帳に5枚付
- 添削について・・・
- ・添削に要する日数は1~2週間(通常1週間)をめどに返送します。
  - ・質問は質問用紙に書くか、付箋に書いて作品に添付してください。
  - ・添削は必ず指定の封筒に入れて郵便もしくはメール便にて送ってください。  
(普通郵便・メール便は郵便事故の補償がありません。それを心配される場合は、配達記録や  
エクスパック等をご利用ください。その場合、返送分の追加料金は切手を同封してください。)
  - ・添削はキットがお手元に届いてから1年間までとし、追加の添削は別途有料にて承ります。
  - ・添削を送るときにメールでご一報ください。
- 連絡先・送り先
- インテリアコーディネートオフィス 添削係  
〒500-8269 岐阜市茜部中島2丁目1-1  
Tel 058・275・6121 Fax 058・275・6122  
E-mail : zukan@icoffice.co.jp

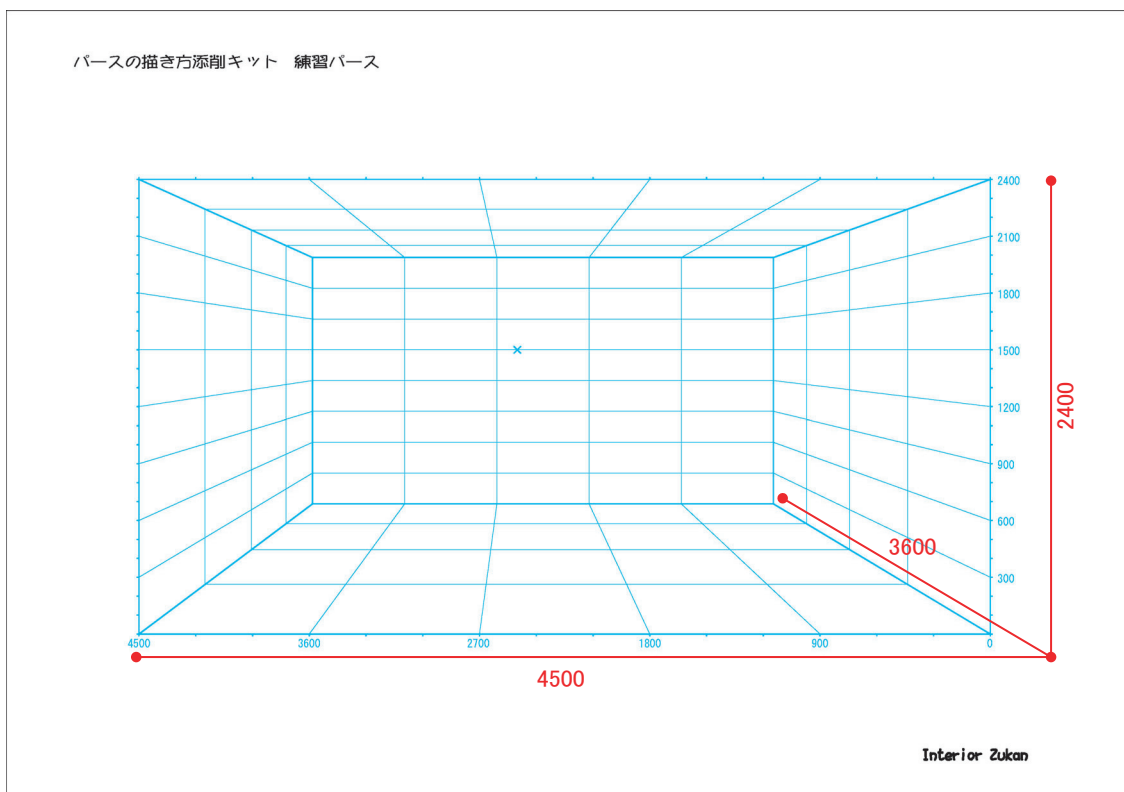
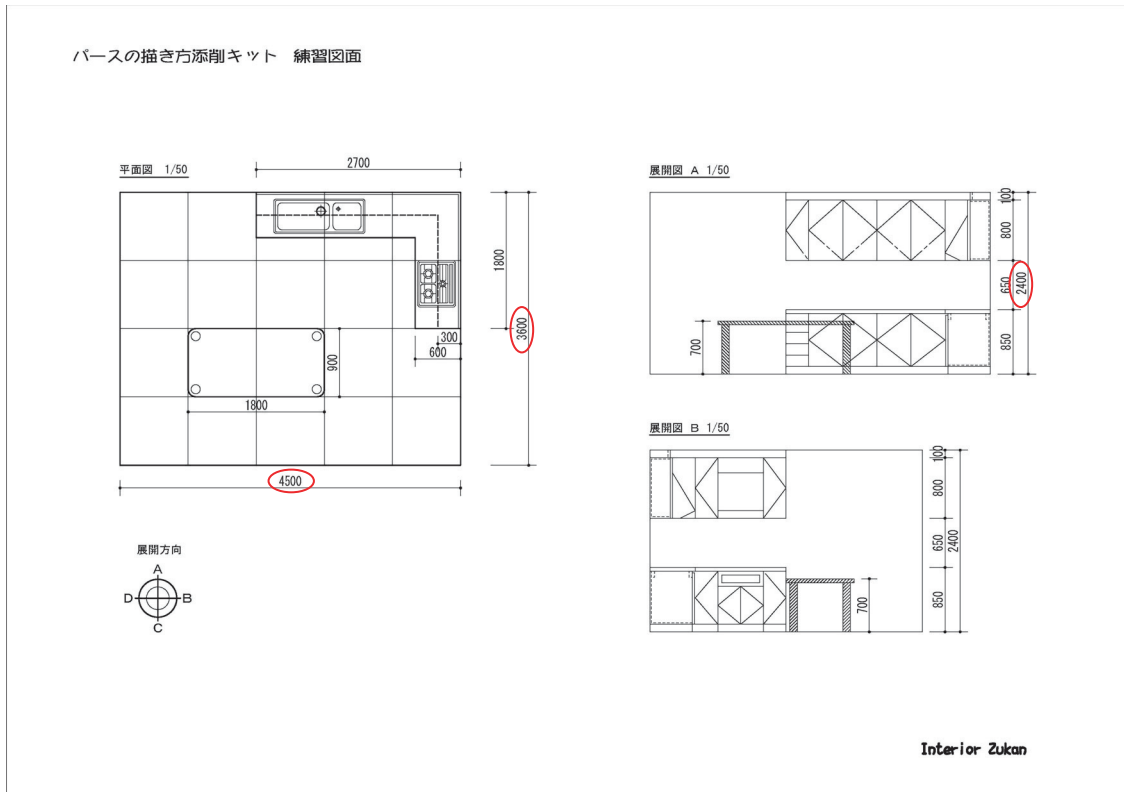
## ステップ 1 : 準備

## パースグリッドの使い方

## ●パースグリッドの準備

- ・練習帳から「練習図面」と「練習パース」を用意します。
- ・パースグリッドの横幅と奥行きは平面図の横幅と奥行きから、高さは展開図の高さから決まります。
- ・よって、平面図のグリッドとパースグリッドの床の部分のグリッドが相對することになります。
- ・このグリッドを頼りに平面図上のエレメントをパースグリッドに落とし込んでいきます。

(パースグリッドの作り方はパースグリッド集の表紙の裏に描いてありますが、一般的にはパースグリッド集から選んで使います。)

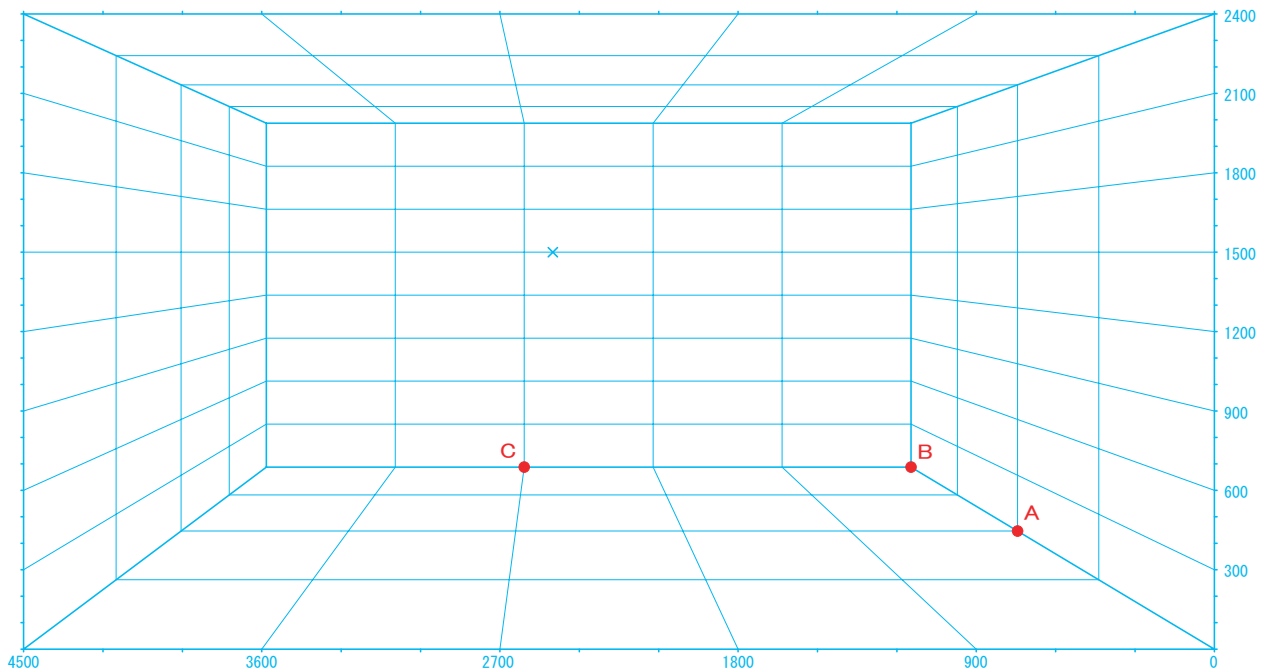


## ステップ 2 : 床面の点のとり方 (1)

## パースグリッドの使い方

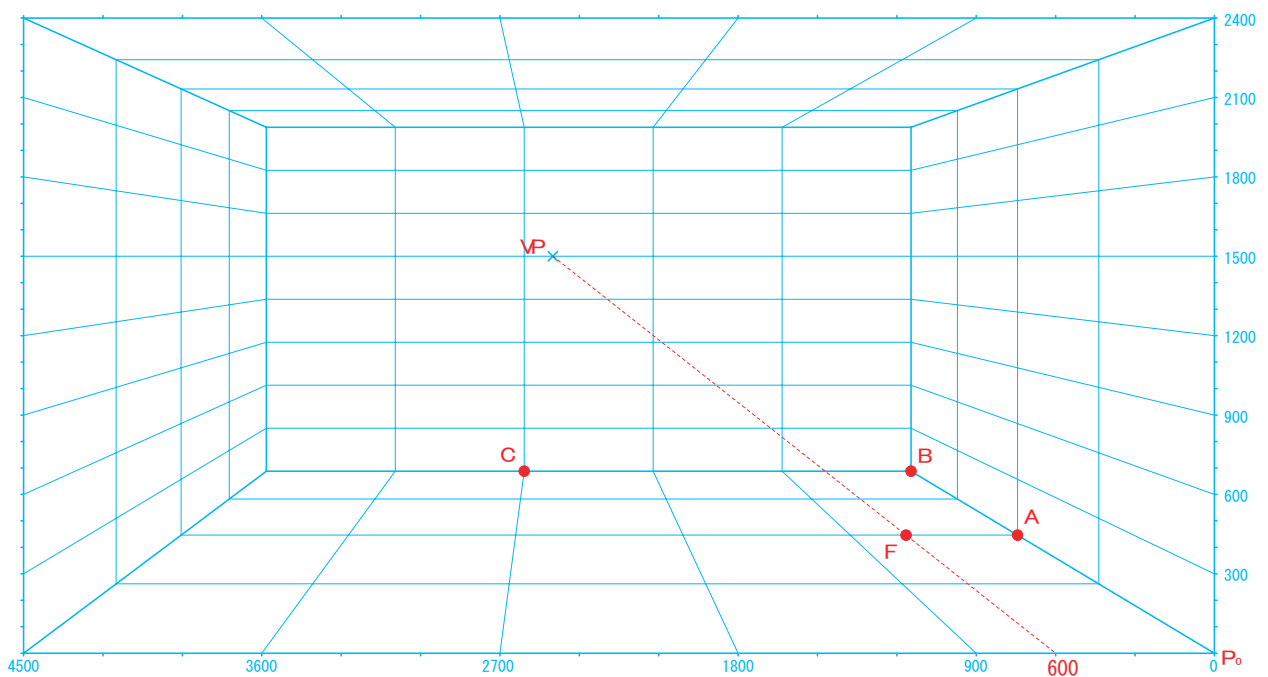
## ●グリッド上の点

- ・平面図からグリッド上にあるフロアキャビネットの床の点ABCをパースグリッドにとります。



## ●VPからの補助線上の点

- ・P<sub>0</sub>から左へ600mmの点とVPとを結ぶ補助線を引きます。(フロアキャビネットの奥行き600mm)
- ・この線が壁から600mmの位置の補助線になります。(フロアキャビネットの前面の位置)
- ・その補助線と奥から2本目のグリッドとの交点にFをとります。

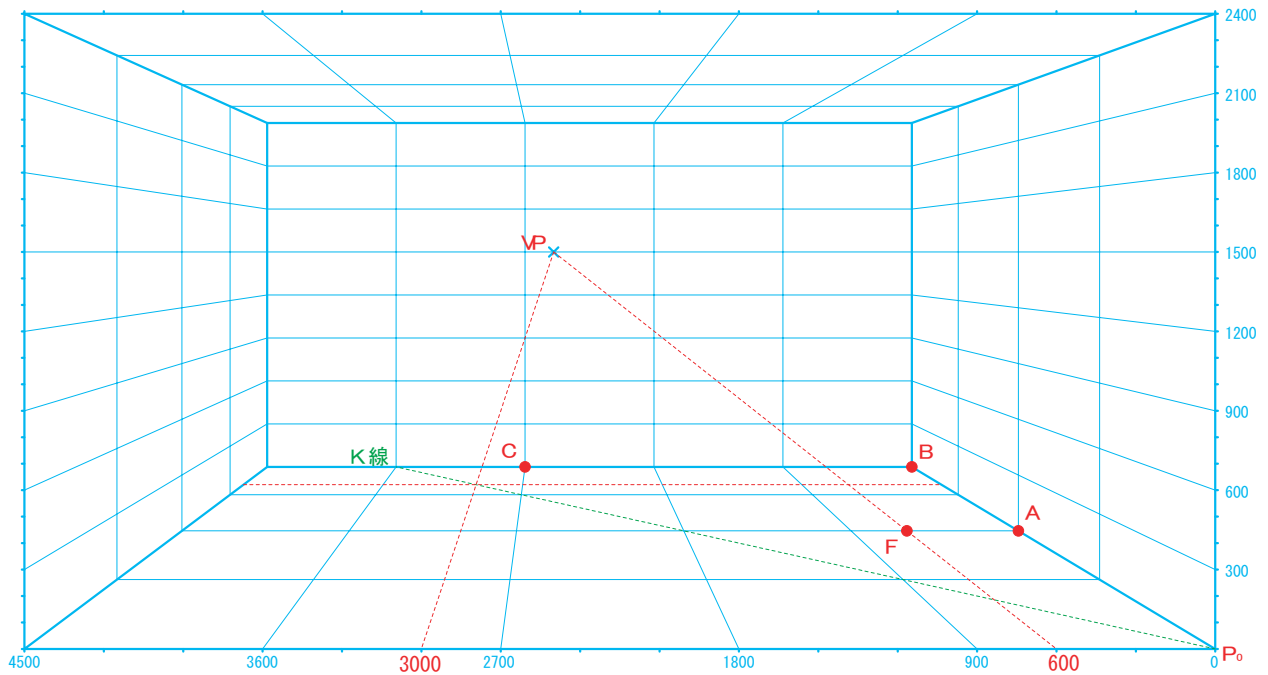


## ステップ 3 : 床面の点のとり方 (2)

## パースグリッドの使い方

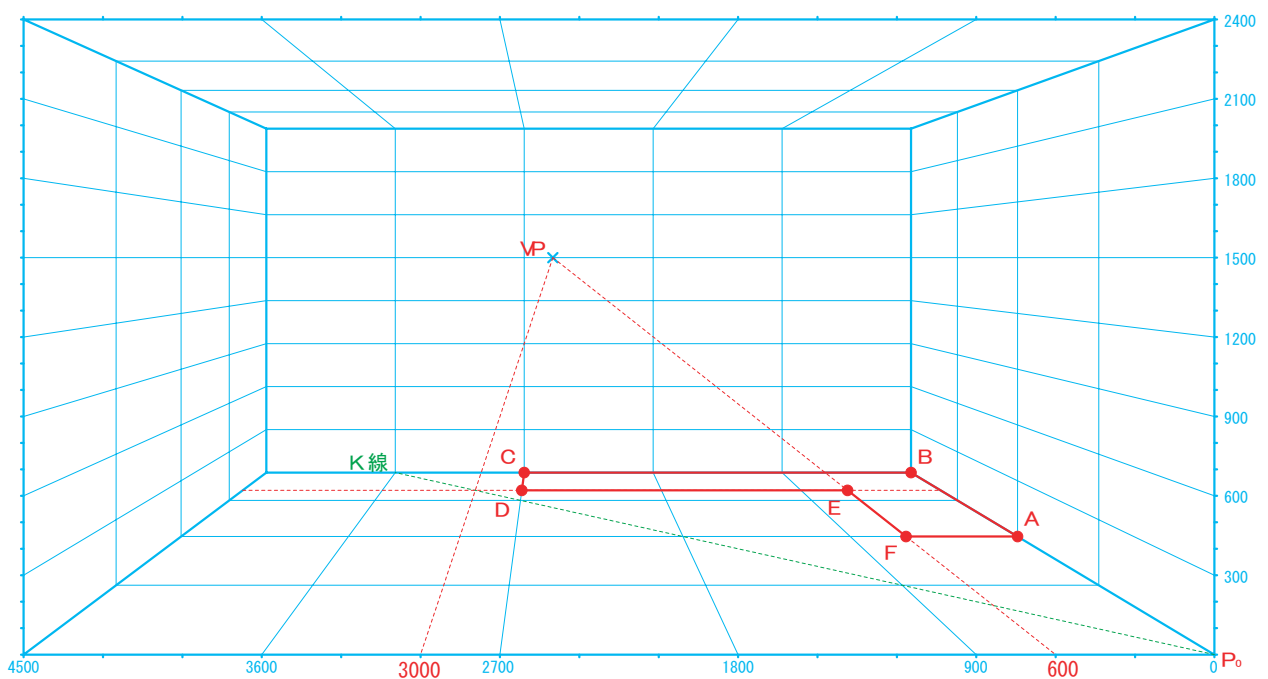
## ●グリッドから外れた奥行き補助線上の点

- ・  $P_0$  からグリッドの対角を通る補助線 (K線) を引きます。
- ・  $P_0$  から左へ  $3000\text{mm}$  の点と  $VP$  とを結ぶ補助線を引き K線との交点を通る水平線を引きます。
- ・ この水平線が手前から  $3000\text{mm}$ 、奥の壁から  $600\text{mm}$  の位置の補助線になります。



## ●床面への投影の完成

- ・ 奥の壁から  $600\text{mm}$  (フロアキャビネットの前面) の補助線上に  $DE$  をとります。
- ・  $ABCDEF$  を実線で結び床への投影が完成です。

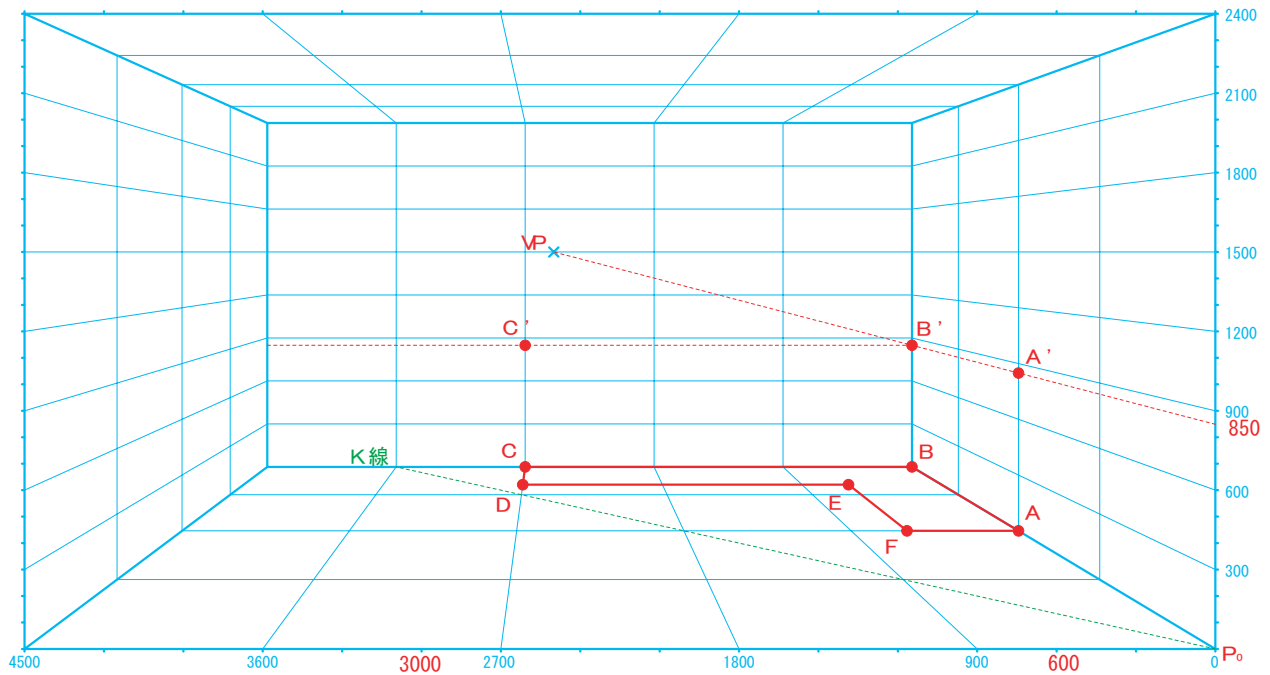


## ステップ 4 : 床面から離れた点のとり方 (1)

## パースグリッドの使い方

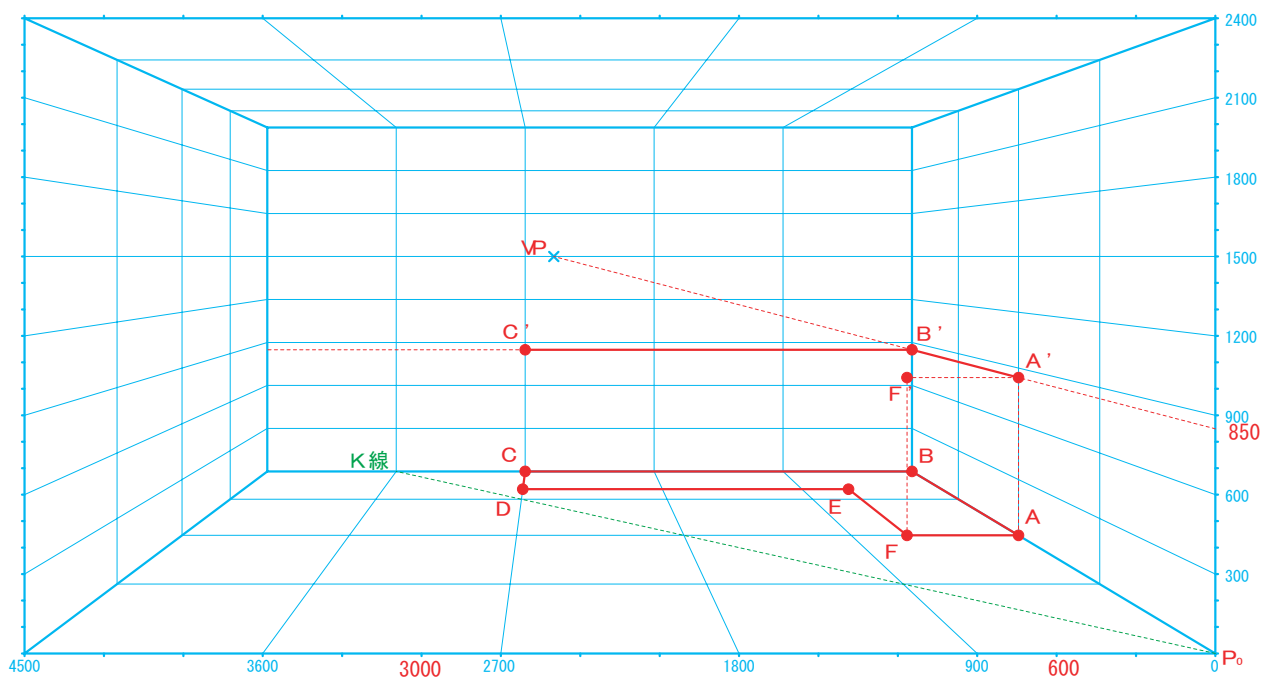
## ●壁に接した点

- ・ P<sub>0</sub> から上へ 850mm の点と VP とを結ぶ補助線を側壁に引きます。(フロアキャビネットの天板の高さ)
- ・ その補助線から奥の壁の補助線(高さ 850mm の水平線)を引きます。
- ・ 補助線上に A' B' C' をとります。



## ●壁にも床にも接していない点

- ・ A' から水平に、F から垂直に引いた補助線の交点に F' をとります。(キャビネットの側面を描きます)
- ※ 1 消点の場合、グリッドに平行な正面は平行線と垂直線から構成され、奥行きは VP に収束されます。

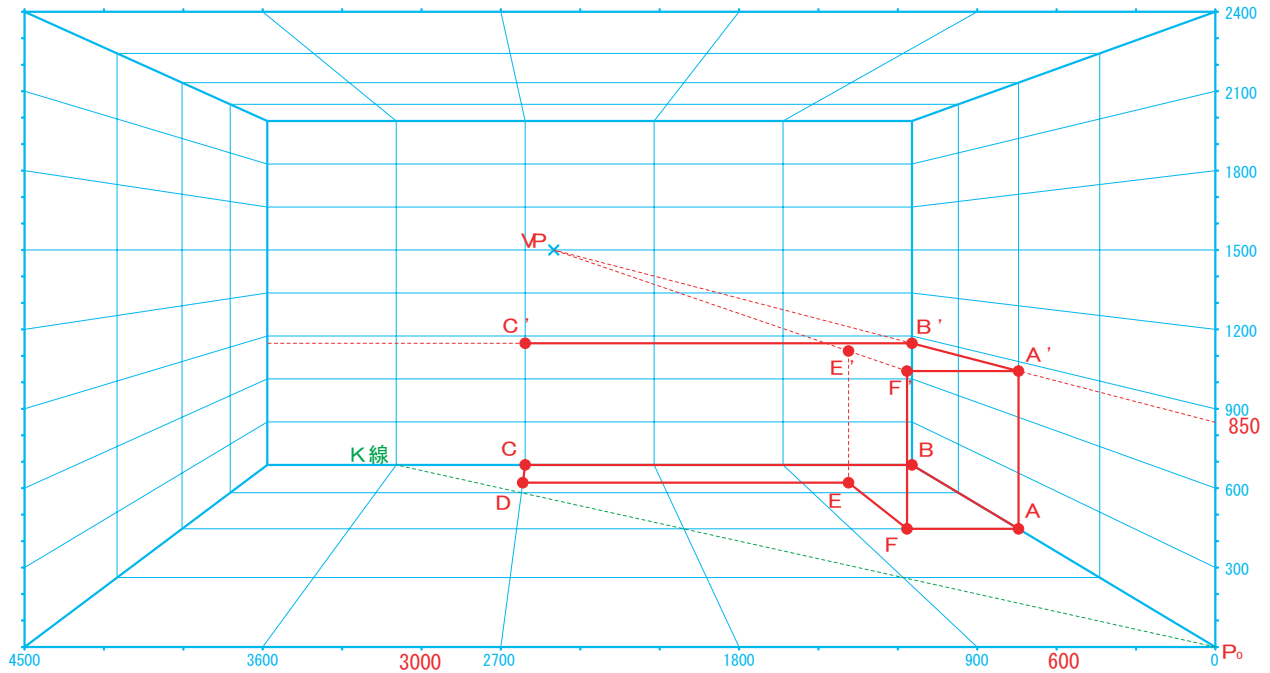


## ステップ 5 : 床面から離れた点のとり方 (2)

## パースグリッドの使い方

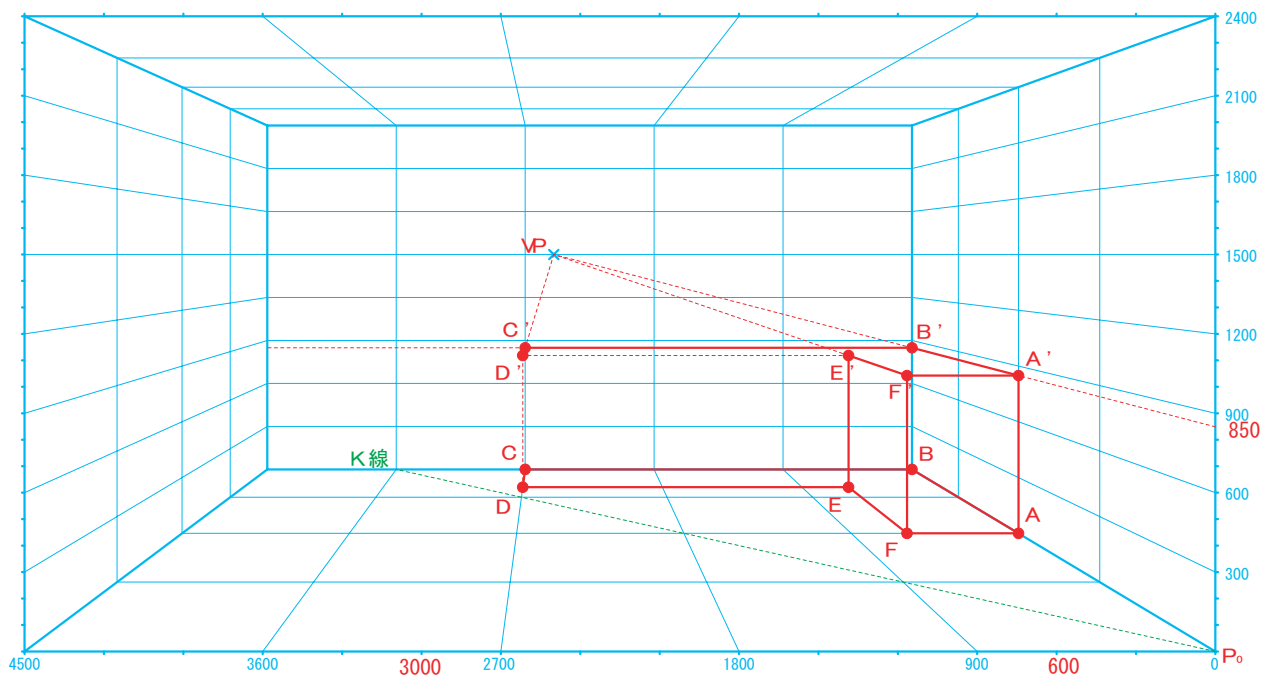
## ●壁にも床にも接していない点

- ・ F' とVPとを結ぶ補助線とEから垂直に引いた補助線の交点にE' をとります。
- ※1 消点の場合、グリッドに平行な正面は平行線と垂直線から構成され、奥行きはVPに収束されます。



## ●壁にも床にも接していない点

- ・ E' から水平に、Dから垂直に引いた補助線の交点にD' をとります。
- ・ また、D' はVPからC' を結ぶ線の延長線上に位置します。
- ・ 各点を実線で結んで、フロアキャビネットが完成です。
- ※1 消点の場合、グリッドに平行な正面は平行線と垂直線から構成され、奥行きはVPに収束されます。

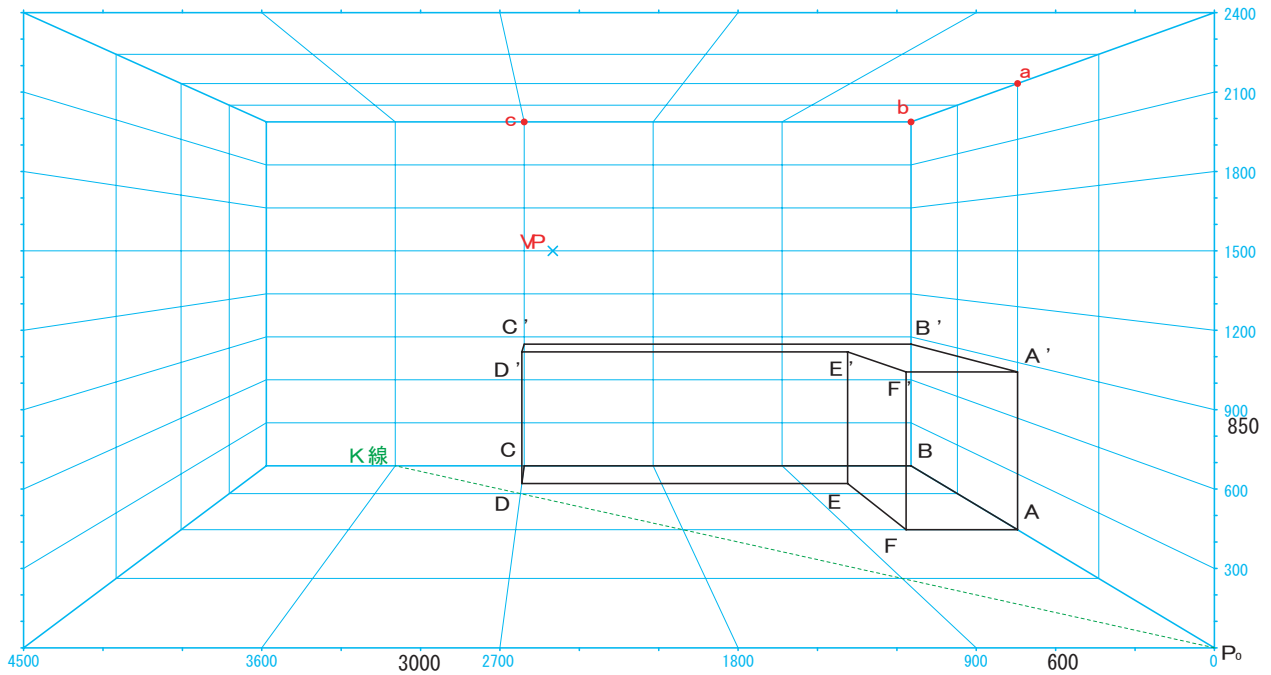


## ステップ 6 : 天井面の点のとり方 (1)

## パースグリッドの使い方

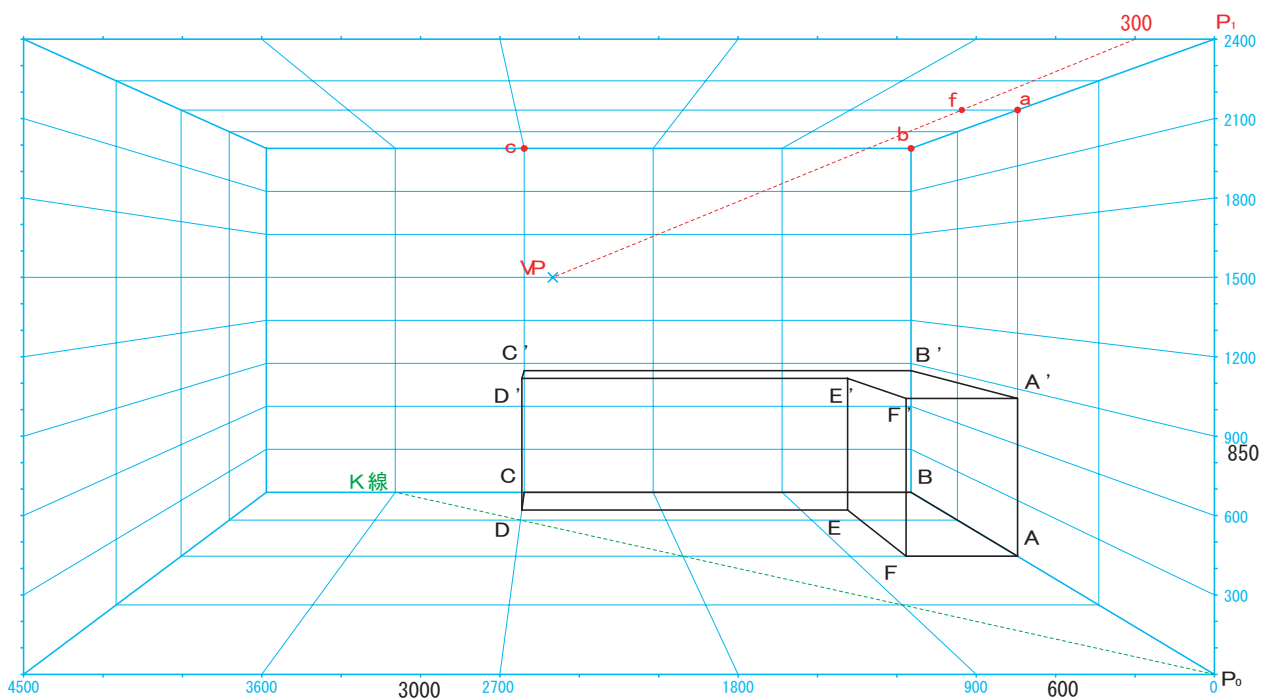
## ●グリッド上の点

- ・平面図からグリッド上にあるウォールキャビネットの天井に接する点 a b c をパースグリッドにとります。



## ●VPからの補助線上の点

- ・P1 から左へ300mmの点とVPとを結ぶ補助線を引きます。(ウォールキャビネットの奥行き300mm)
- ・この線が壁から300mmの位置の補助線になります。(ウォールキャビネットの前面の位置)
- ・その補助線と奥から2本目のグリッドとの交点に f をとります。







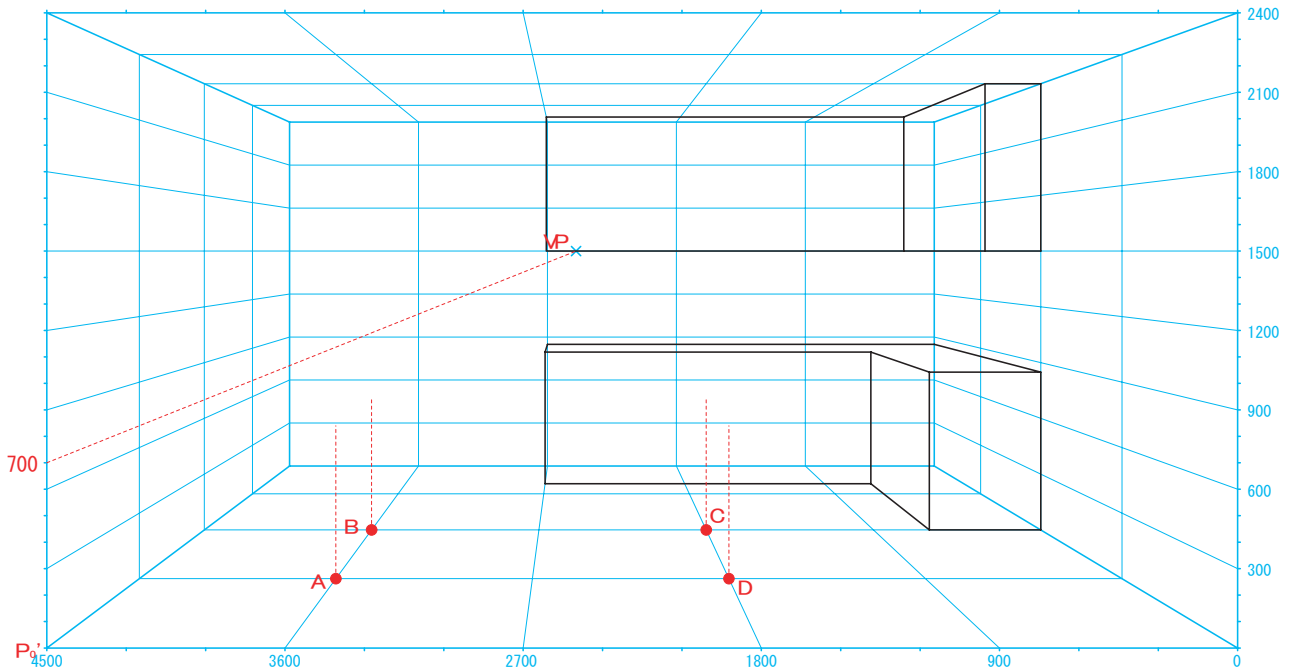


## ステップ 10：壁に接してない点のとり方（1）

## パースグリッドの使い方

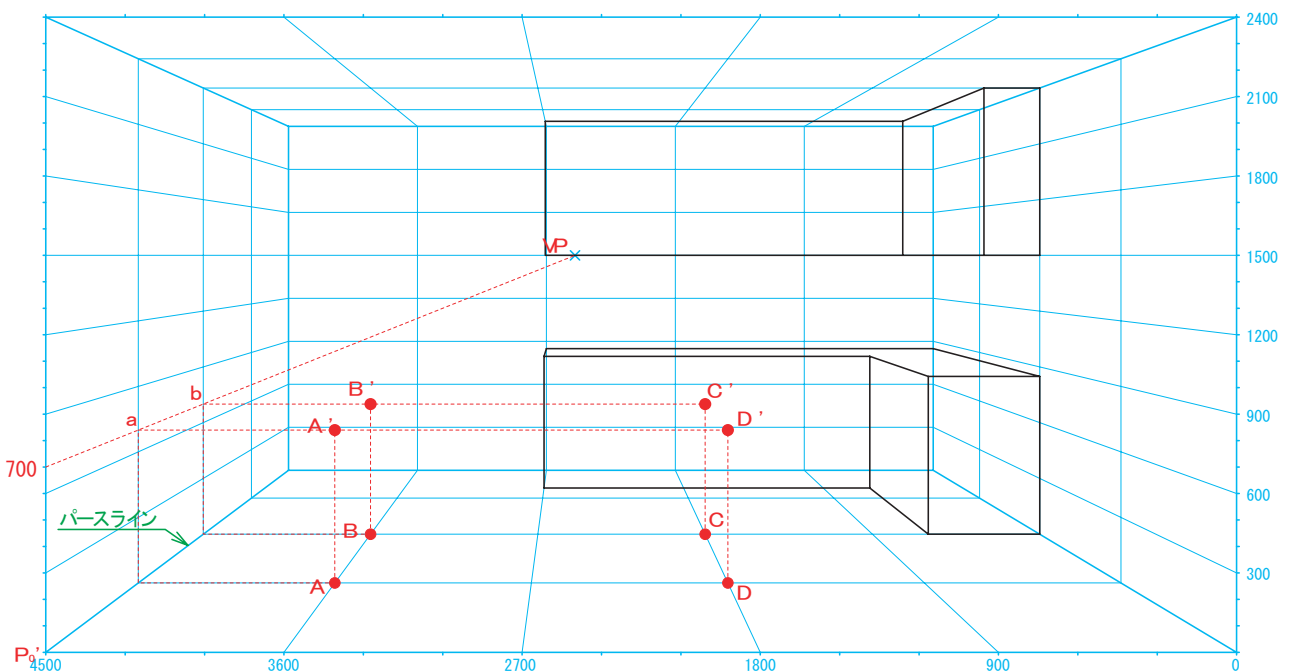
## ●ダイニングテーブルの位置

- ・平面図からグリッド上にあるダイニングテーブルの床の点ABCDをパースグリッドにとります。
- ・各点から垂直に適当な長さの補助線を引いておきます。
- ・ $P_0'$  から上へ700mmの点とVPを結ぶ補助線を引きます。（テーブルの高さ700mm）  
※この線が壁での床から700mmの高さの補助線になります。（テーブルの天板の高さ）



## ●ダイニングテーブルの高さ

- ・ADを通る補助線をパースラインで垂直に上げ、壁の700mmの補助線との交点aをとります。
- ・aからの水平な補助線とADからの補助線の交点A' D' をとります。（AD点での700mmの高さ）
- ・BCを通る補助線をパースラインで垂直に上げ、壁の700mmの補助線との交点bをとります。
- ・bからの水平な補助線とBCからの補助線の交点B' C' をとります。（BC点での700mmの高さ）

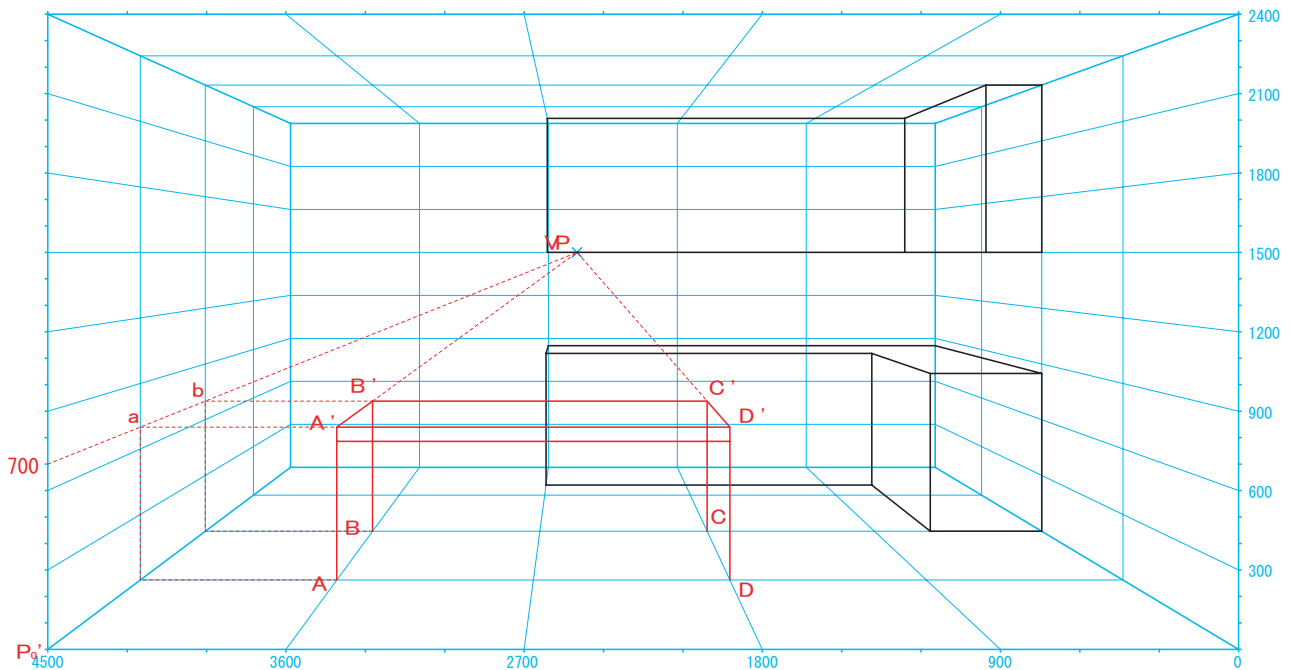


## ステップ 11：壁に接していない点のとり方（2）

## パースグリッドの使い方

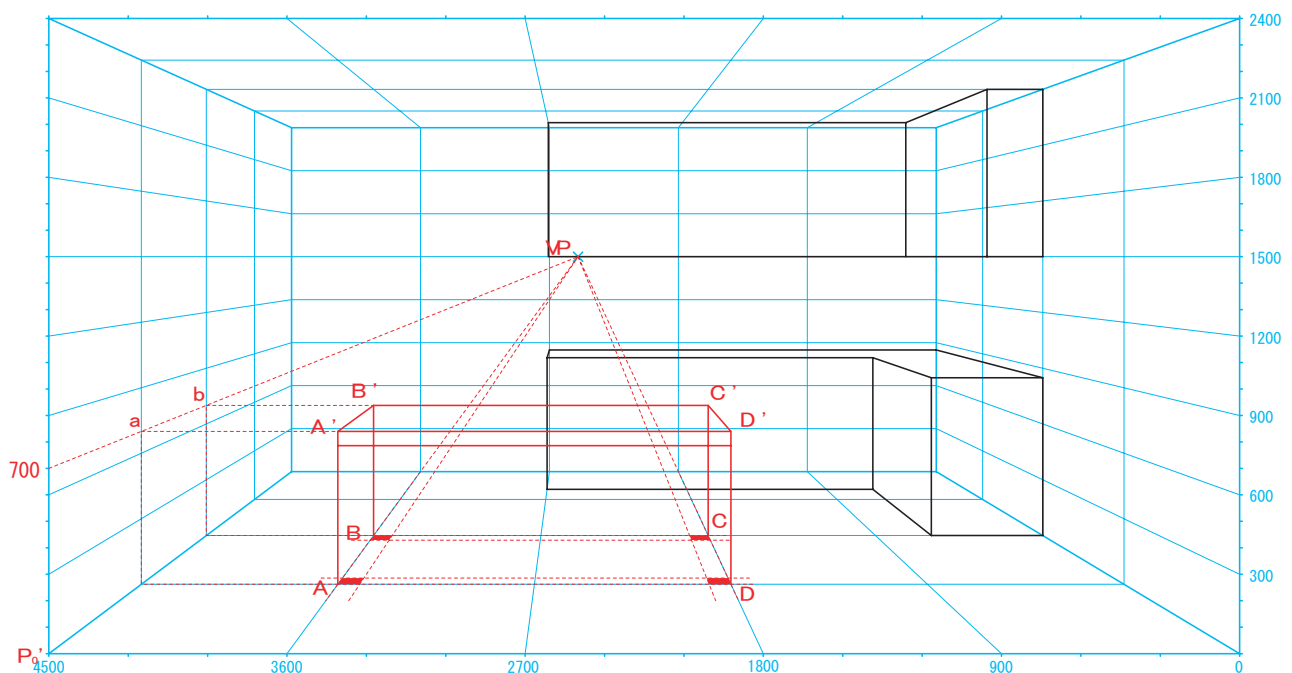
## ●テーブルの直方体

- ・ ABCDとA' B' C' D' をテーブルの直方体と見なし、そこから天板の厚みを適当にとります。
- ※全体の大きさの直方体から削り出す、または直方体をつなぎあわせていくと考えると理解しやすいです。



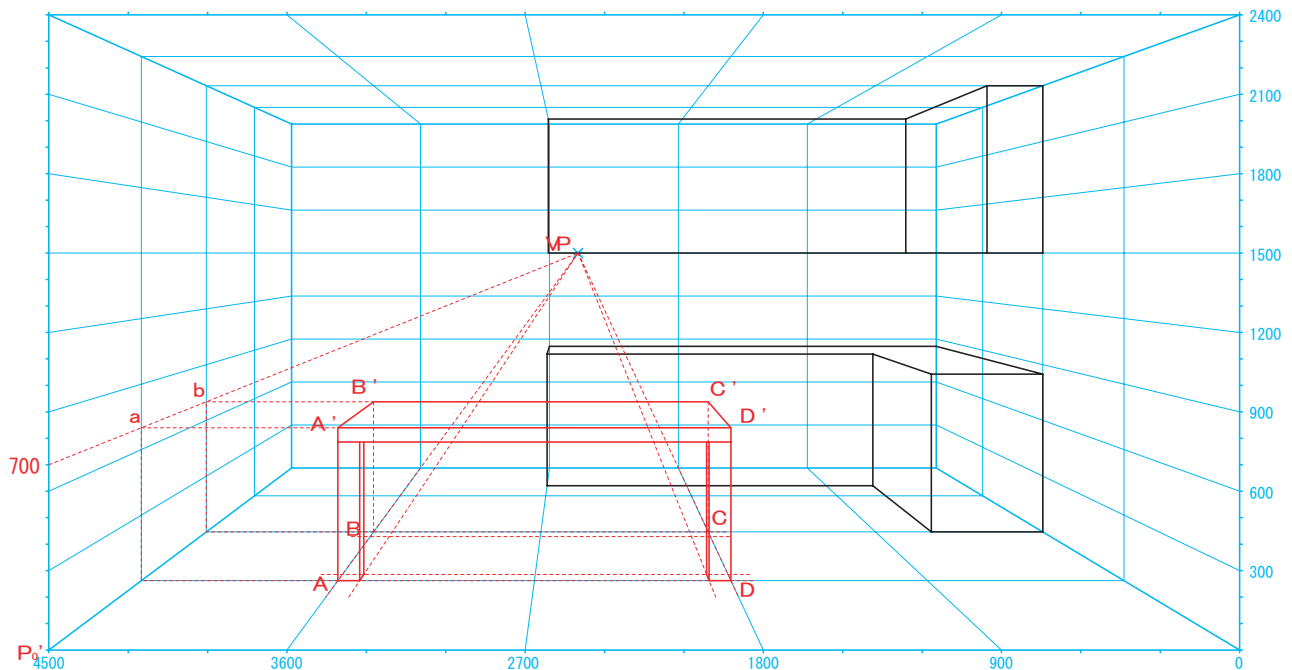
## ●脚の位置と大きさ

- ・ 脚を天板と別の直方体と考え、床面に補助線を引きます。
- ・ 大きさは100mm角ぐらに見えるように目安でとれるように練習しましょう。
- ※脚の位置と大きさは正確に出さないと不安定になったり、バランスが悪くなったりします。



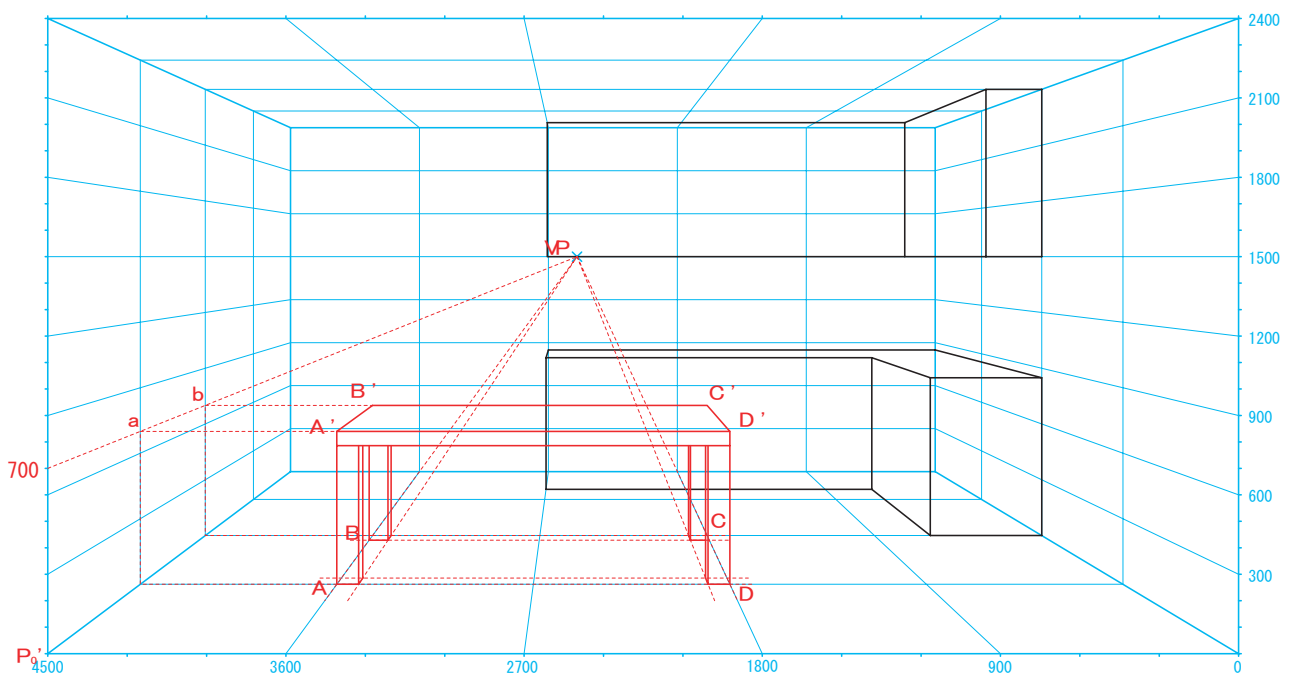
## ●角脚の描き方

- ・直方体の脚は4本の線から成りますが、通常2面（3本の線）が見えますので必ず3本の線を描きます。
  - ・床に引いた補助線から見える位置の3本の線を垂直に描きます。
- ※直方体でも真正面から見たときは一面しか見えず、線も2本に成ります。



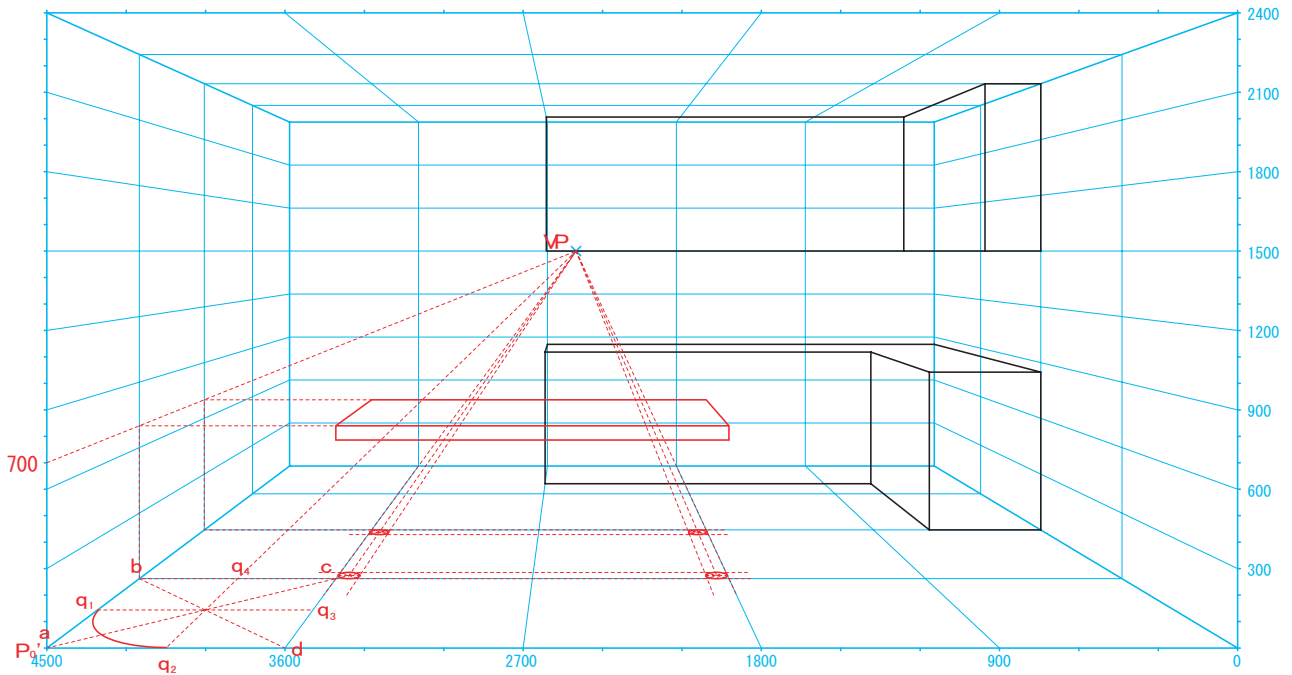
## ●テーブルの仕上げ（角脚）

- ・パースを描くときの原則ですが、仕上げは必ず手前から描きます。
  - ・前の2本の脚が描けたら、後ろの2本の脚を描きます。
- ※補助線は、効率よく4本分まとめて引きますが、仕上げは手前からです。影になるところはあとから消すのではなく最初から描きません。



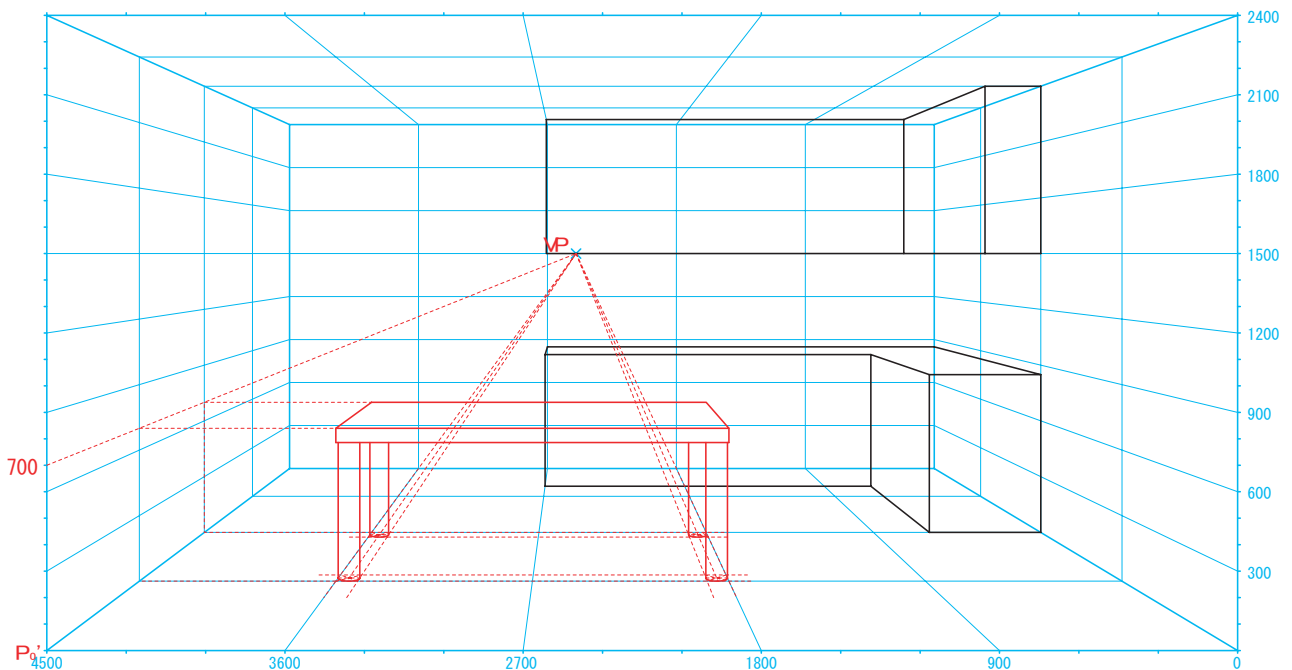
## ●丸の練習

- ・丸いものでも直方体や四角形から削り出すように考えます。
- ・左隅のグリッドのように、2分割してそれぞれの点 $q_1$   $q_2$   $q_3$   $q_4$ を通る円を描けば真円に見えます。  
※慣れるまでは一回で描こうとせず、鉛筆をぐるぐると何回も廻していると感覚がつかめます。



## ●テーブルの仕上げ（丸脚）

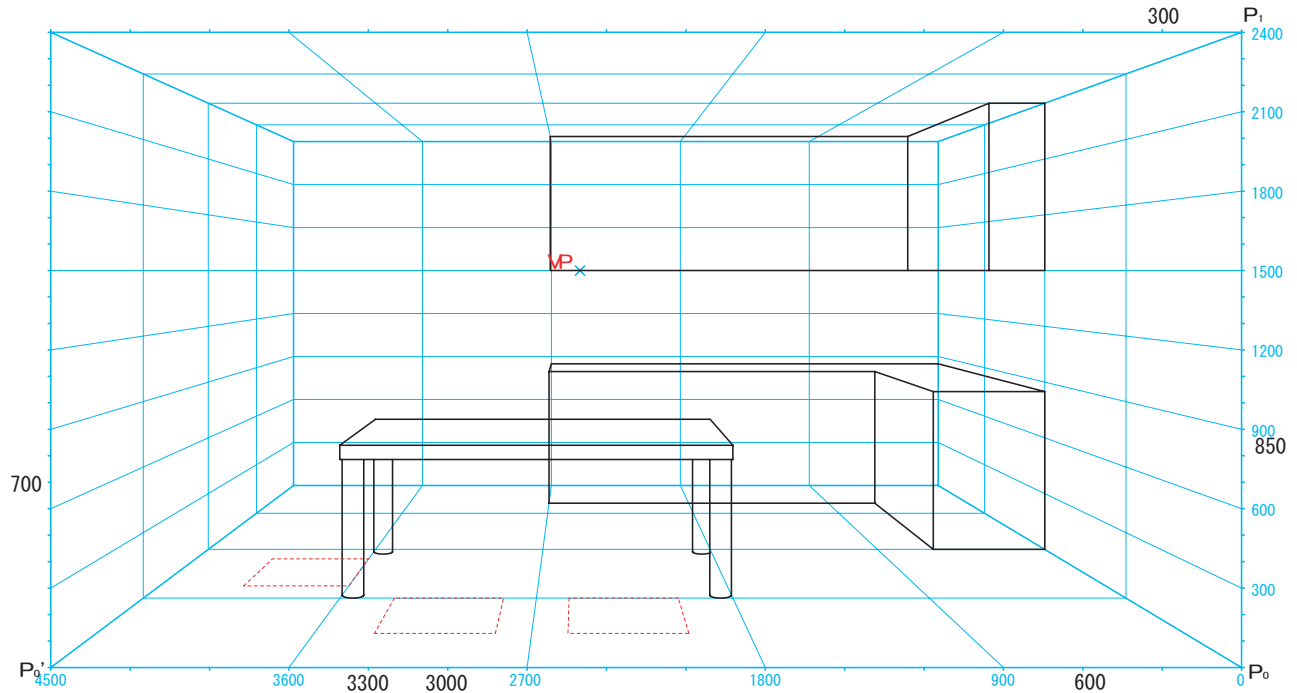
- ・丸脚は、角脚と違って2本の線で仕上げます。
- ・床面の丸は補助線のグリッドの中に描いて、不要な部分はあとから消します。  
※半円は描きにくいので円を描いてから、字消し版を使って消します。



### ●ダイニングチェアの位置

- ・椅子の位置をパースグリッドの床面にとります。（平面図には描いてありません）
- ・大きさは500mm角ぐらいにします。

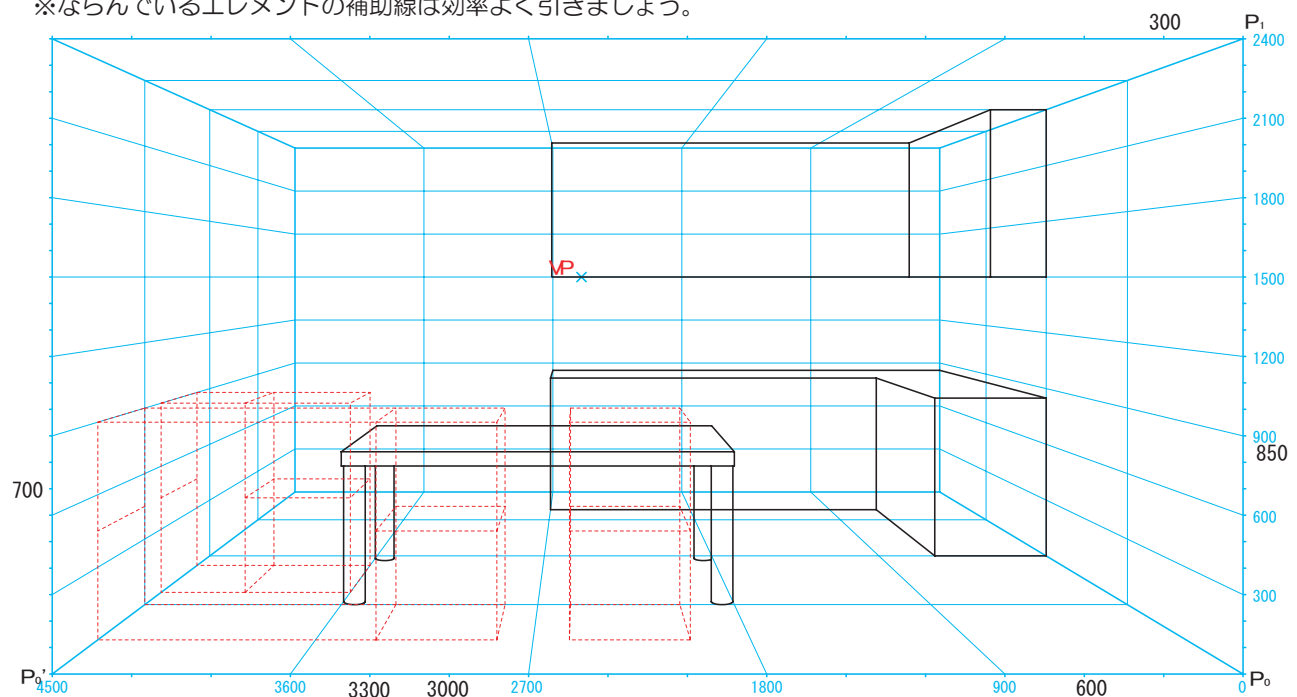
※椅子は描くのに手間のかかるエレメントのひとつです。見え方を考慮して配置と置く角度を決めましょう。



### ●チェアの直方体

- ・チェアも最初は直方体として考えます。
- ・ここでは高さ900mm、座高450mmの直方体に立ち上げます。
- ・高さはテーブルと同じように壁面で決めて補助線を引きます。

※ならんでいるエレメントの補助線は効率よく引きましょう。

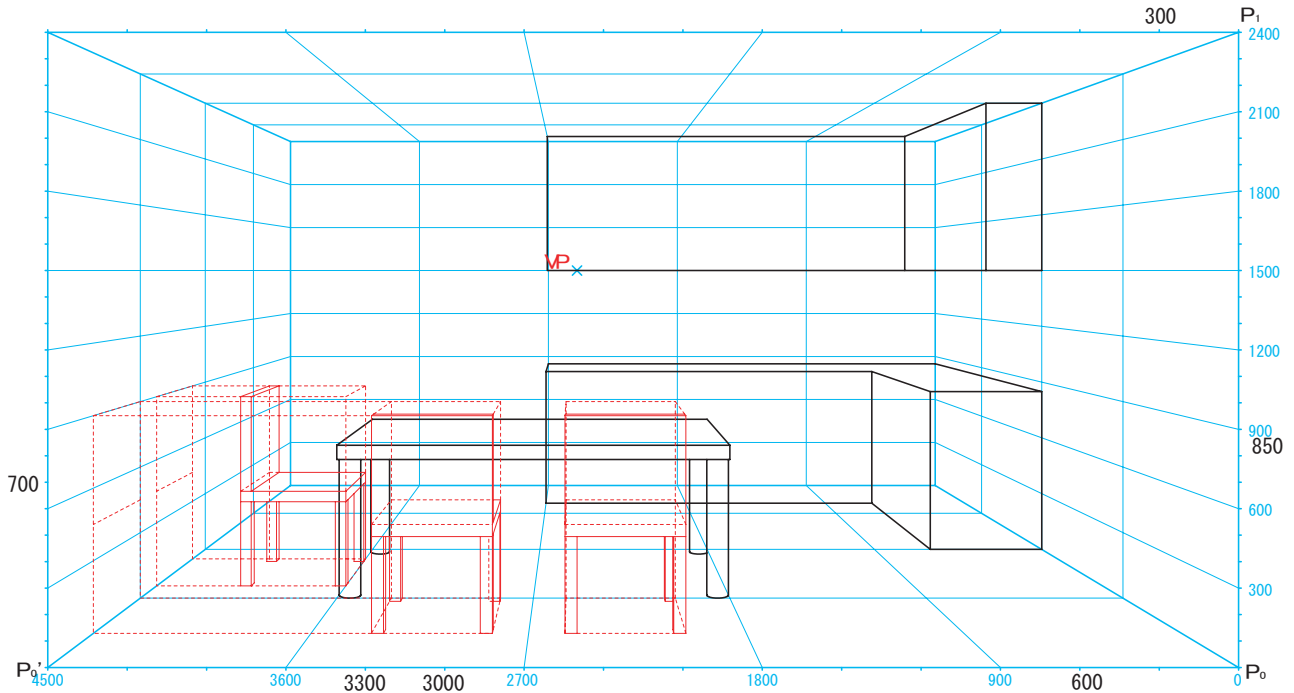


## ステップ 15：ダイニングチェアの描き方（2）

## パースグリッドの使い方

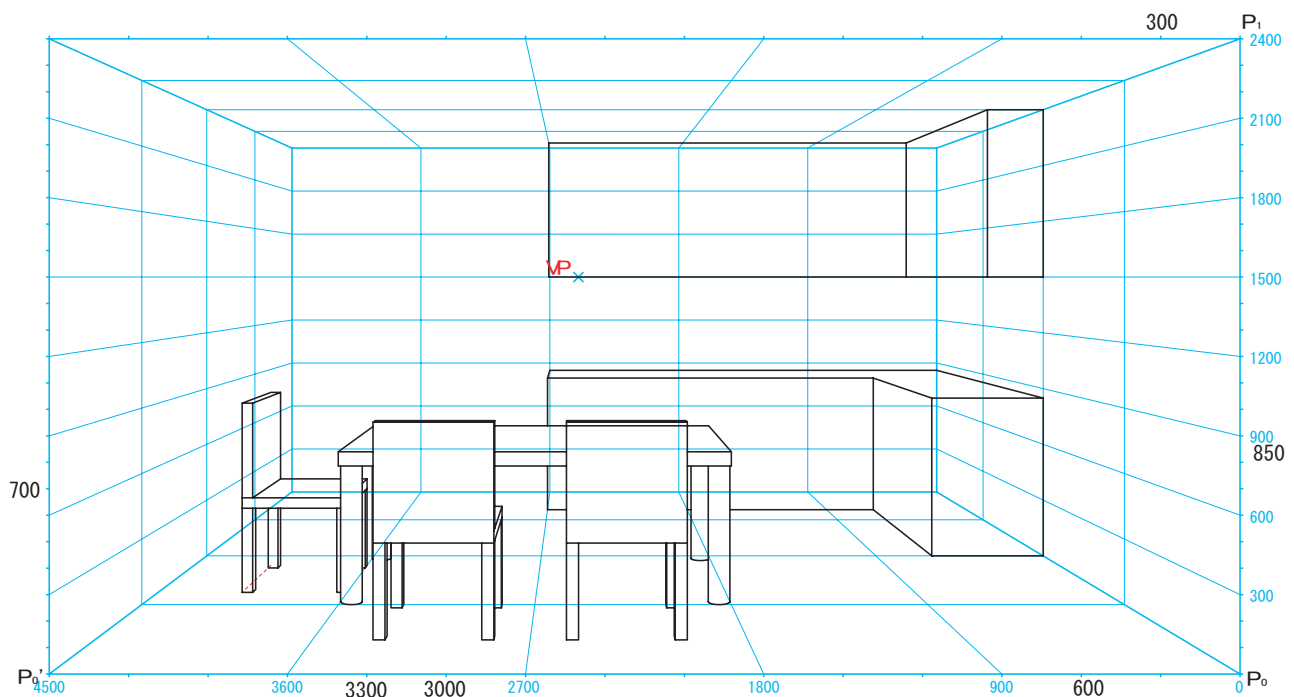
## ●チェアの脚と座面

- ・最初に座面から描くと描きやすいです。（座面の高さを確認しましょう）
- ・脚はテーブルと同じように位置と大きさを正確に描きます。（角脚は3本の線で）  
※慣れてきたら、直方体の中に好きなデザインのチェアをカタログや写真を見ながら描く練習をしましょう。



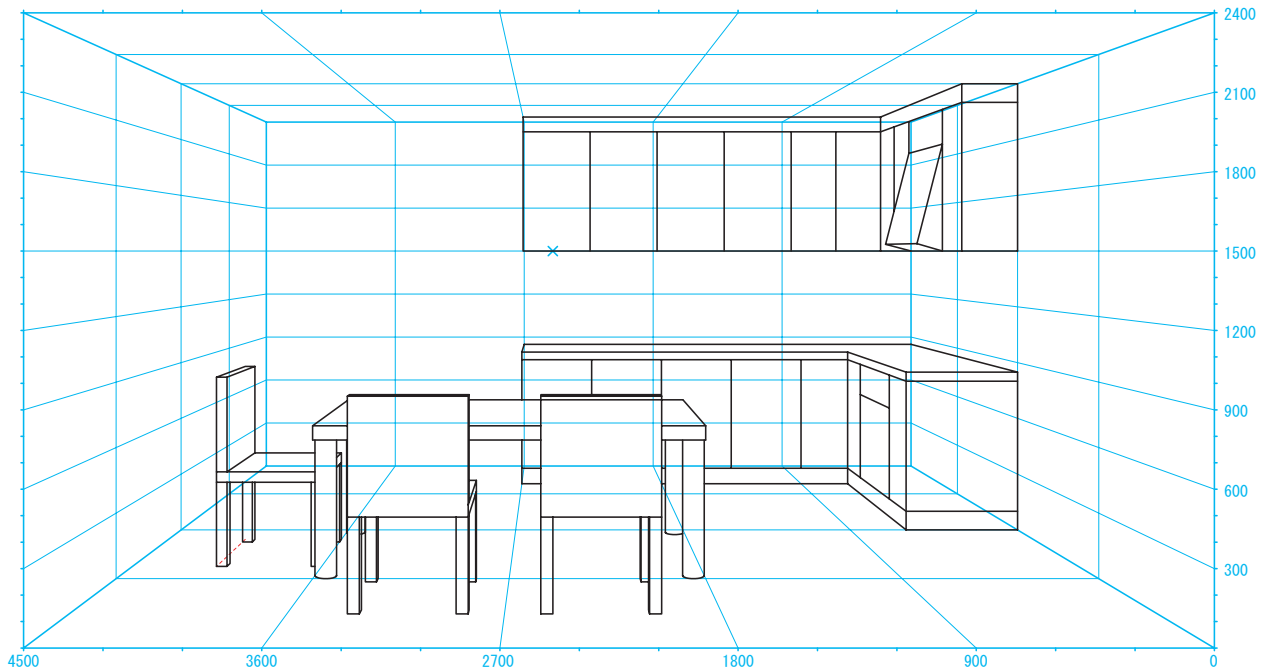
## ●チェアの仕上げ

- ・パースを描くときの原則に従って、仕上げは手前から描きます。
- ・見えない部分はあとから消すのではなく、最初から描かないようにします。  
※慣れてきたら、質感の表現にも挑戦しましょう。



### ●フロアキャビネットとウォールキャビネットの仕上げ

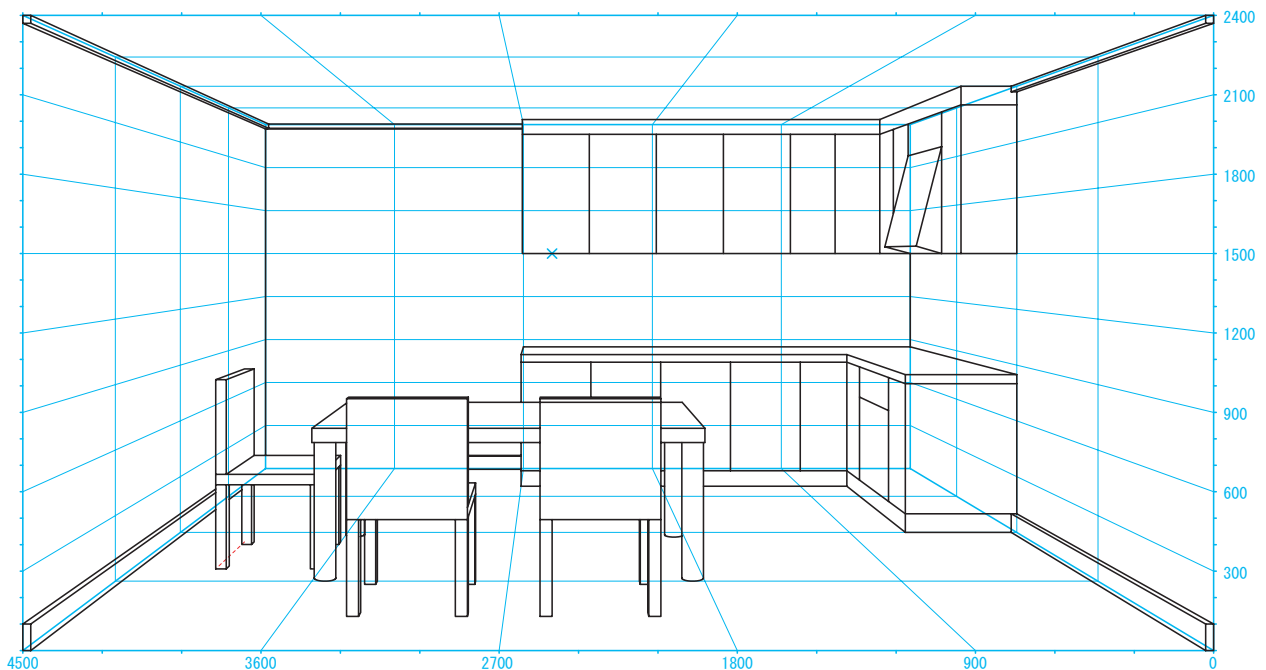
- ・扉の割り付け、加熱調理器、レンジフードなどカタログをみながら仕上げていきます。
- ・右壁面のレンジフードや加熱調理器のある面は、同じ大きさでも奥へ行くほど小さく描きます。  
※奥行きを目安で分割できるのがベストですが、慣れるまでは次頁の2分割法や3分割法を利用してください。



### ●部屋の仕上げ

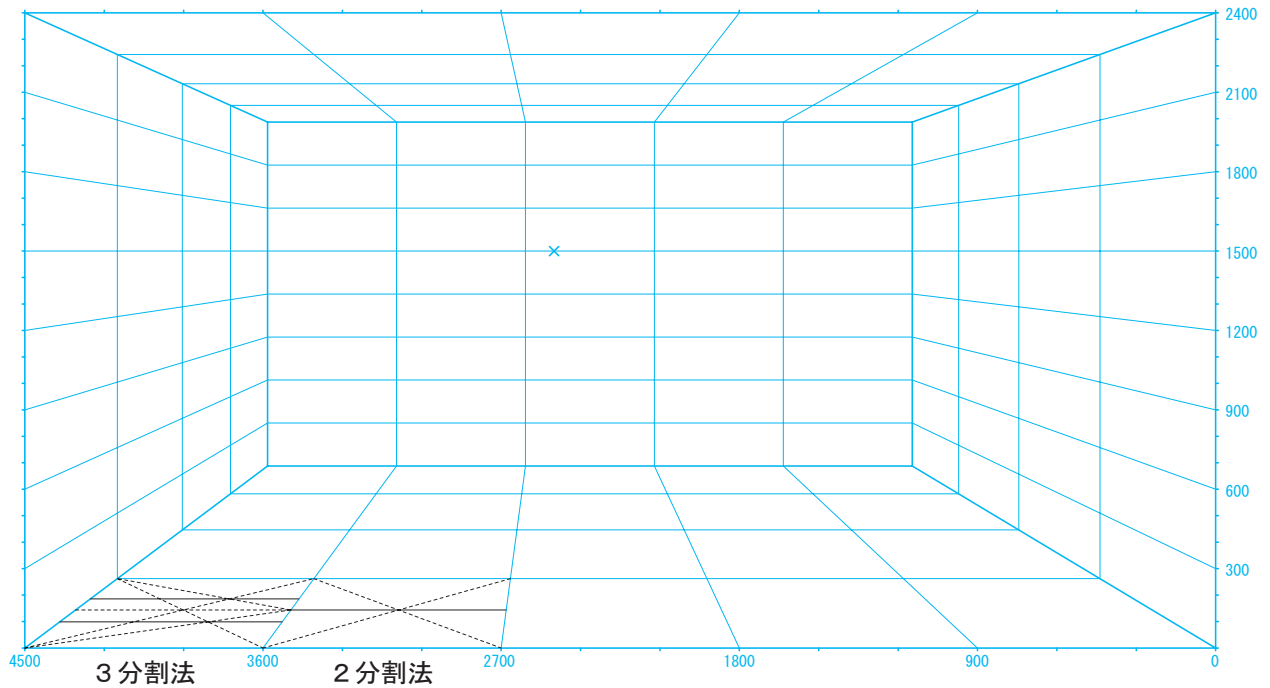
- ・廻り縁や幅木を描きます。手前に断面を描いてから描くと簡単にそれらしく見えます。
- ・時間があったら、冷蔵庫、建具、照明器具、小物なども書き加えましょう。

★ここで第1回目の添削です！

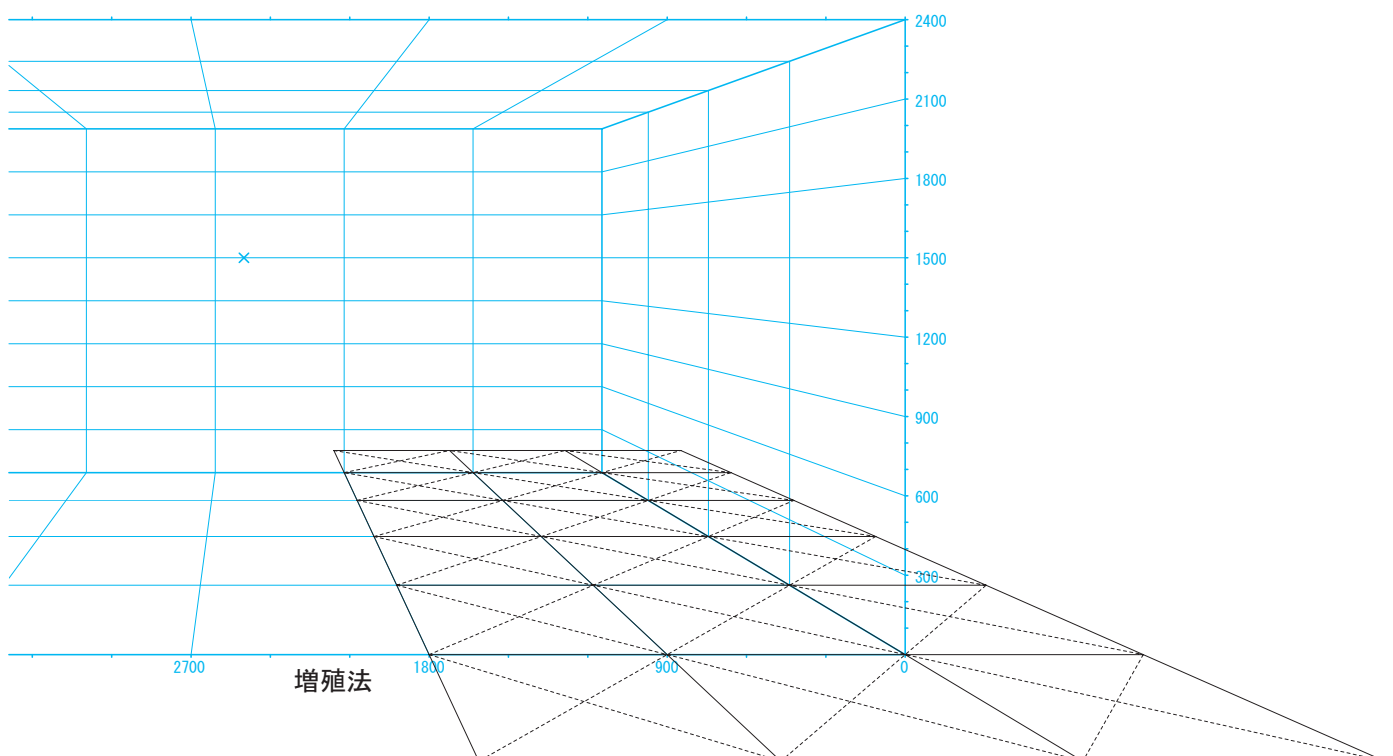


**● 2分割法・3分割法**

- ・これを使えば、簡単に幅も奥行きも正確に分割できますし、中心点もわかります。

**● 増殖法**

- ・パースグリッドが足りなくなったら、これで簡単に増やせます。
- ・窓の外とか、ベランダに利用できます。





## Interior Zukan



携帯からの注文はQRコードで・・・  
<http://icoffice.co.jp/zukan/k/>